

令和5年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：福岡県内の世界遺産について

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課

九州国立博物館・世界遺産室

1 調査の目的

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」に基づき、顕著な普遍的価値を有するものとして、世界遺産リストに記載された遺産である。「文化遺産」「自然遺産」、両方を兼ね備えた「複合遺産」の3種類から成り、国や民族をこえて人類が共有するべき遺産とされている。

福岡県内には、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(平成 27 年 7 月登録)と「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(平成 29 年 7 月登録)の2つの世界文化遺産がある。

本アンケートは、福岡県内に所在する世界遺産の認知度を把握するとともに、世界遺産としての価値発信の在り方等について今後の事業の参考とする。

2 調査期間

令和5年9月15日～10月3日(第3回)

3 回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	373		90	197	56	30
	構成比		100.0%	24.1%	52.8%	15.0%	8.0%
性別	女性	206	55.2%	55	104	29	18
	男性	165	44.2%	35	92	26	12
	その他	2	0.5%	0	1	0	1
年代別	20代以下	60	16.1%	14	31	11	4
	30代	63	16.9%	14	33	11	5
	40代	72	19.3%	16	38	12	6
	50代	67	18.0%	18	35	10	4
	60代	84	22.5%	23	41	12	8
	70代以上	27	7.2%	5	19	0	3

モニター数 398人
回答者数 373人
回答率 93.71859%

【回答結果の注意点】

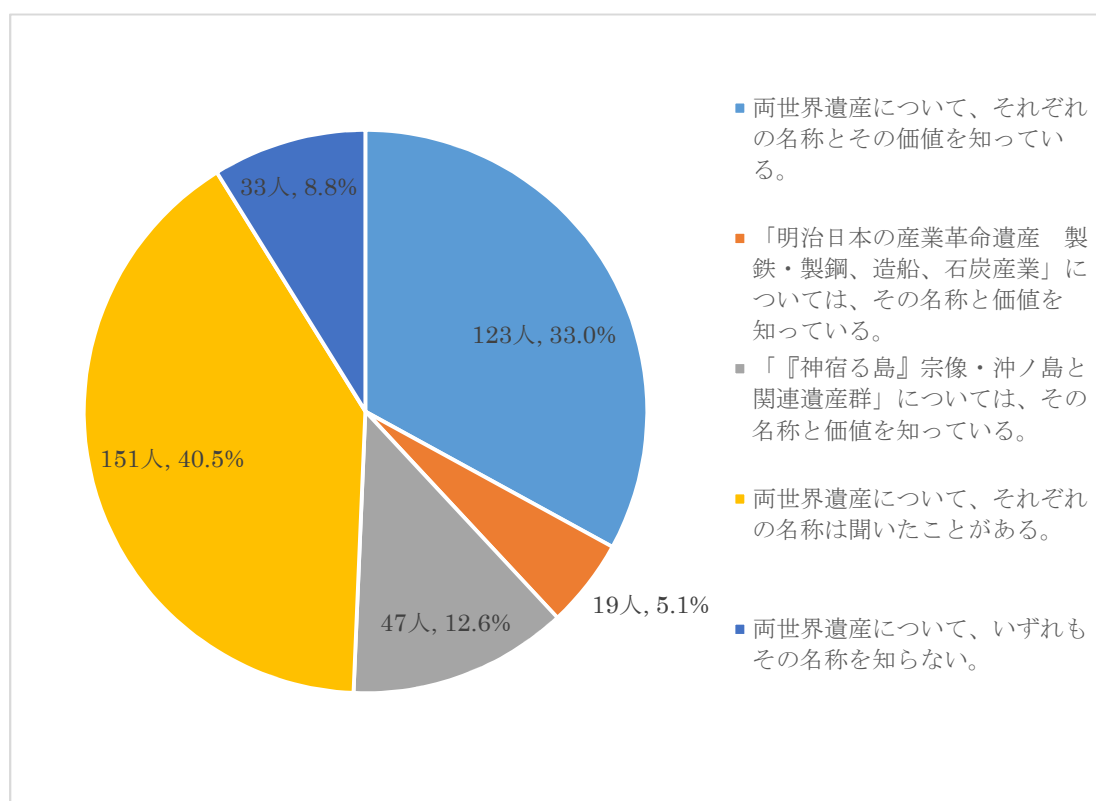
- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答(複数回答)を要する設問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

4 回答結果

問1 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」についてそれぞれの名称とその価値について知っていますか。
次の中から【1つ】選んでください。

(回答者数 373 人回答)

1 両世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている。	123 人	33.0%
2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については、その名称と価値を知っている。	19 人	5.1%
3 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、その名称と価値を知っている。	47 人	12.6%
4 両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある。	151 人	40.5%
5 両世界遺産について、いずれもその名称を知らない。	33 人	8.8%



【問1の調査結果より】

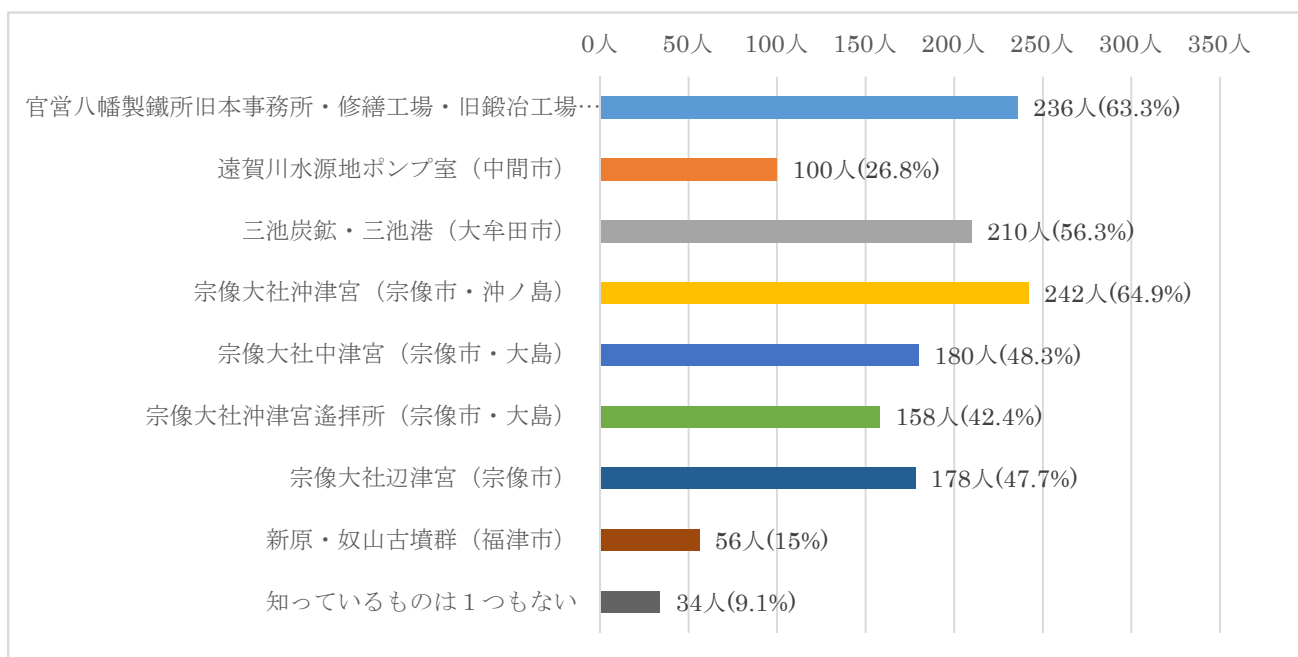
- ・「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の方が「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」より認知度が高い。
- ・約4割が「両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある」と回答している。名称だけでなく、その価値も知ってもらえるよう、情報発信に取り組んでいく必要がある。

問2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知っている構成資産はありますか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答者数 373 人複数回答)

1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	236 人	63.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	100 人	26.8%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	210 人	56.3%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	242 人	64.9%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	180 人	48.3%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	158 人	42.4%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	178 人	47.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	56 人	15.0%
9 知っているものは1つもない	34 人	9.1%



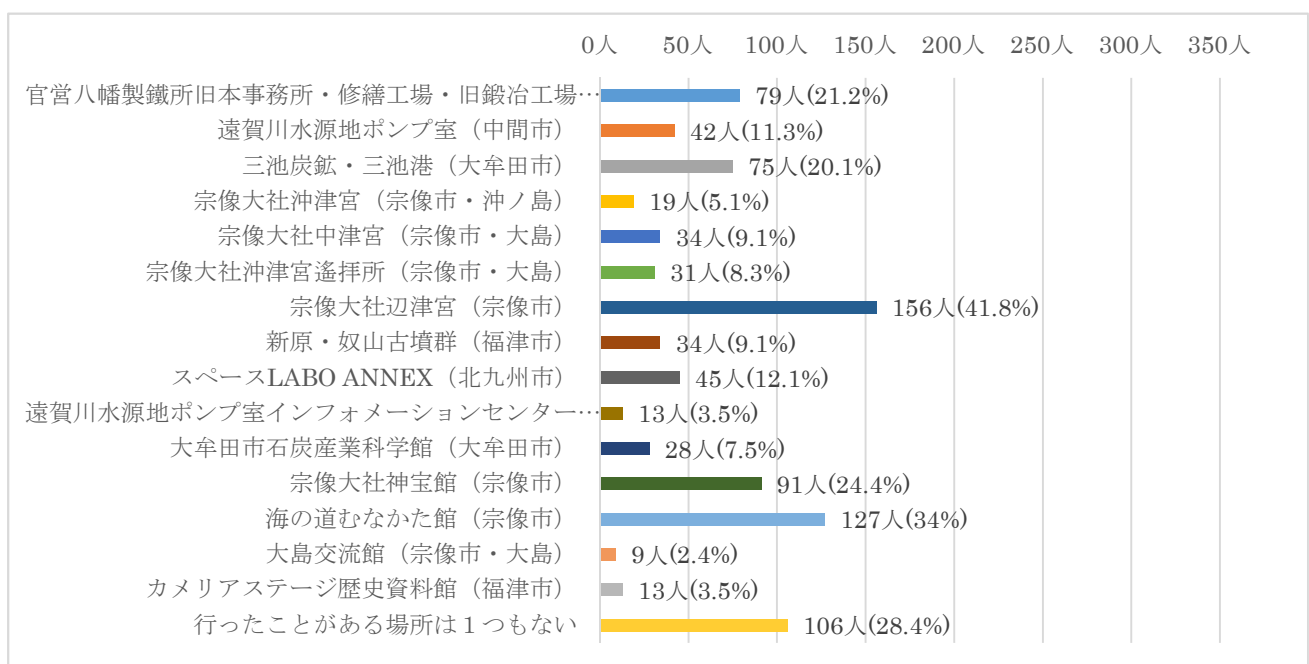
【問2の調査結果より】

・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」においては中間市の遠賀川水源地ポンプ室、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」においては福津市の新原・奴山古墳群の認知度が低い。その認知度向上を図るため、それぞれの資産がどのような価値を持つか発信していく必要がある。

問3 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の構成資産や関連する展示施設のうち、行ったことがある場所はどこですか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答者数 373 人複数回答)

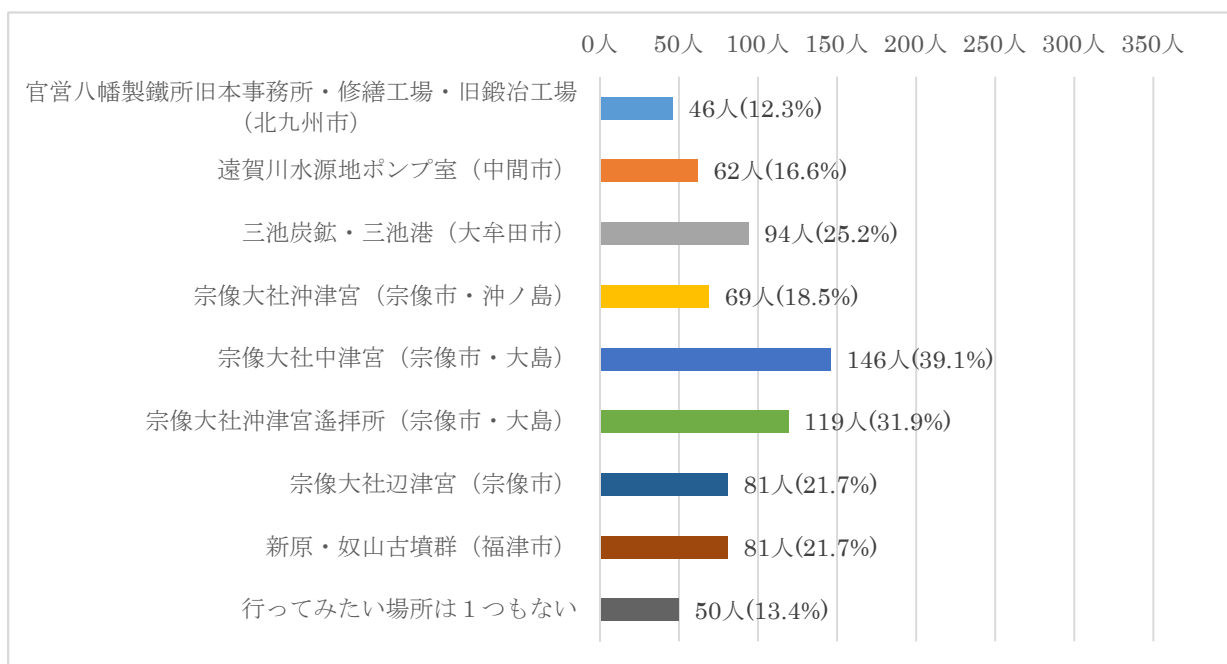
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	79 人	21.2%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	42 人	11.3%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	75 人	20.1%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	19 人	5.1%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	34 人	9.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	31 人	8.3%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	156 人	41.8%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	34 人	9.1%
9 スペース LABO ANNEX(北九州市)	45 人	12.1%
10 遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター(中間市)	13 人	3.5%
11 大牟田市石炭産業科学館(大牟田市)	28 人	7.5%
12 宗像大社神宝館(宗像市)	91 人	24.4%
13 海の道むなかた館(宗像市)	127 人	34.0%
14 大島交流館(宗像市・大島)	9 人	2.4%
15 カメリアステージ歴史資料館(福津市)	13 人	2.5%
16 行ったことがある場所は1つもない	106 人	28.4%



問4 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産のうち、今後行ってみたい場所はありますか。次の中から最も当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答者数 373 人複数回答)

1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	46 人	12.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	62 人	16.6%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	94 人	25.2%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	69 人	18.5%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	146 人	39.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	119 人	31.9%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	81 人	21.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	81 人	21.7%
9 行ってみたい場所は1つもない	50 人	13.4%



【問3、問4の調査結果より】

・両世界遺産の構成資産や関連する展示施設に「行ったことがある場所は1つもない」と約3割が回答しており、来訪促進を図る取組を継続していく必要がある。

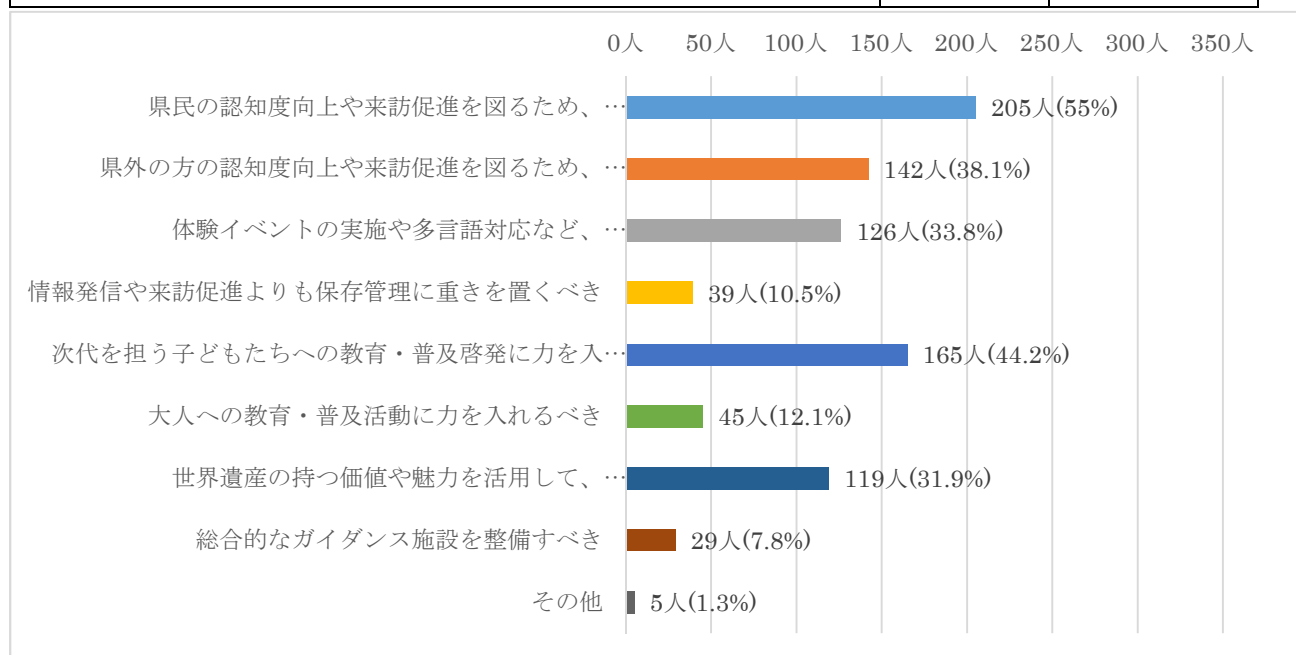
・宗像市・大島の構成資産である宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所に「行ったことがある」との回答は1割に満たないのに対し、「行ってみたい」との回答は3割を超え、離島のためアクセスの問題はあるが、潜在的なニーズが確認できた。

・構成資産や関連する展示施設によって行ったことがある場所とない場所の差が大きいことから、両世界遺産の構成資産や関連施設が連携した周遊促進イベントを今後も継続し、相互に誘客を図ることが必要である。

問5 福岡県内の世界遺産について、優先的に取り組んでほしいことは何ですか。
次の中から最も当てはまるものを【3つ以内】選んでください。

(回答者数 373 人複数回答)

1 県民の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	205 人	55.0%
2 県外の方の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	142 人	38.1%
3 体験イベントの実施や多言語対応など、受入環境の整備に重きを置くべき	126 人	33.8%
4 情報発信や来訪促進よりも保存管理に重きを置くべき	39 人	10.5%
5 次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき	165 人	44.2%
6 大人への教育・普及活動に力を入れるべき	45 人	12.1%
7 世界遺産の持つ価値や魅力を活用して、地域に貢献する人材や組織の育成に力を入れるべき	119 人	31.9%
8 総合的なガイダンス施設を整備すべき	29 人	7.8%
9 その他	5 人	1.3%



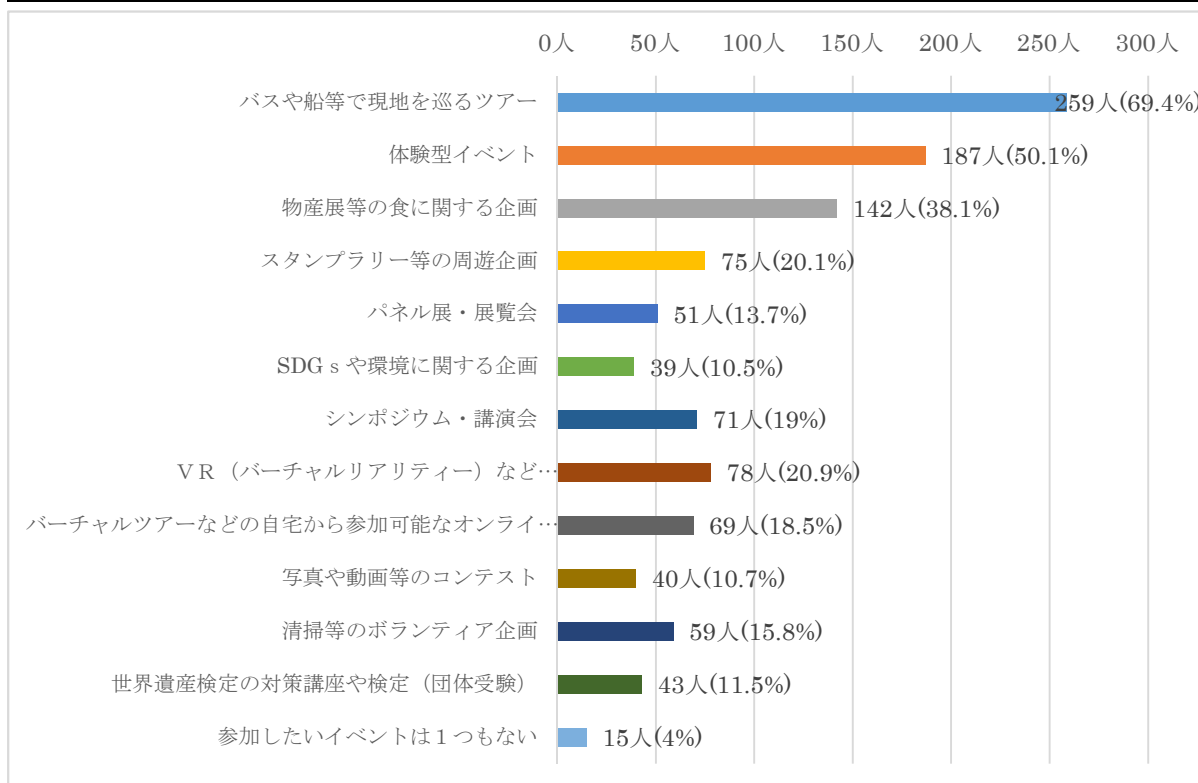
【問5の調査結果より】

- ・「認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき」との回答が多いことから、引き続き県内外に向けた情報発信が求められている。
- ・「次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき」との回答が4割を超えることから、子どもが楽しみながら世界遺産について学ぶための取組を今後も継続していく必要がある。
- ・多言語対応等の受入環境の整備や、地域に貢献する人材や組織の育成が必要との回答も3割を超えることから、今後も地元と世界遺産の価値を共有し、連携した取り組みが求められている。
- ・総合的なガイダンス施設を整備すべきとの回答は1割に満たない結果となった。

問6 今後世界遺産に関するイベント等が開催されたら参加したいものはありますか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答者数 373 人複数回答)

1 バスや船等で現地を巡るツアー	259 人	69.4%
2 体験型イベント	187 人	50.1%
3 物産展等の食に関する企画	142 人	38.1%
4 スタンプラリー等の周遊企画	75 人	20.1%
5 パネル展・展覧会	51 人	13.7%
6 SDGsや環境に関する企画	39 人	10.5%
7 シンポジウム・講演会	71 人	19%
8 VR(バーチャルリアリティー)などデジタル技術を活用した企画	78 人	20.9%
9 バーチャルツアーなどの自宅から参加可能なオンライン企画	69 人	18.5%
10 写真や動画等のコンテスト	40 人	10.7%
11 清掃等のボランティア企画	59 人	15.8%
12 世界遺産検定の対策講座や検定(団体受験)	43 人	11.5%
13 参加したいイベントは1つもない	15 人	4%



【問6の調査結果より】

- ・ツアーや体験型イベントなど、世界遺産を身近・間近に感じられるイベントへの需要が大きい。
- ・パネル展・展覧会、シンポジウム・講演会、検定など、世界遺産について深掘りして学ぶ、学術的な取組の継続も求められている。
- ・VRなどのデジタル技術を活用した企画やオンライン企画にも参加したいとの回答が2割程度あった。

問7 福岡県の世界遺産について、これまでの設問以外意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【一部抜粋(回答者数 126人)】

【世界遺産の価値、情報発信、来訪促進等について】

・当たり前前に存在していて特に意識せず日々を過ごしているため、もっと世界遺産であること、どうして世界遺産になっているのかその魅力に触れられるような広報をしてほしい。

興味のある人は知っているが、ない人は聞いたこともない…という状態な気がする。そのために小学校で習って社会科見学で訪問したり、訪問だけでも親子参加にするなどして地道に知っていることが当たり前、になると良いなと思う。

・産業革命遺産は、日本が近代化に向けて挑戦した過程を、技術的・社会的な側面から見る事が出来、沖ノ島関連遺産は、日本が古代から海と関わってきたことを、信仰・文化的な側面から見る事が出来ます。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、難しい状況ですが、次世代を担う子供達に是非見学して、歴史や文化に触れて欲しい。修学旅行の誘致等、積極的なPRに期待しております。

・世界遺産もそれ単体としてあるわけではなく、多くは生活空間の中にあります。生活者も一体となって利益を得られるような企画がいいと思います。(金銭的利益ではなく、例えば自転車レースを開催し、その為の道路整備が車いすやベビーカーにも使いやすくなる、等)。

・世界遺産に認定されているから大切にというより、その遺産自体が地域社会においていかなる意味を持ってきたのかを地域社会で理解していくことが大切ではないかと思います。その意味においては、地域に存在する他の大切な遺産も地域住民が確認し、学ぶような機会を作れると良いのではないかと考えます。

・ユネスコの世界遺産登録に関わらず、地域として大切な歴史的なものは大切に保存し後世へと伝え受け継いでいく必要があると思います。ユネスコなどの認証に頼らずに日本独自で大切なものを守っていく、福岡県にはそのような発信をしていただきたいです。

・世界遺産への登録が県民にどのような負担を強いて、どのような利益を生んでいるのかがわからない。もっとわかりやすく大切にできる理由を提示してほしいです。

・世界遺産の名称にとっつきにくさ、理解のしにくさがあるように思う。分かりやすいキャッチコピーのようなものがあると内容への理解や興味が出てくるのではないかと思った。

・次世代に残していくために、どのような維持保存活動を行っているかの情報発信をもっとすべきと思う。その遺産自体の魅力を発信するのと同様もしくはそれ以上の、価値の発信になるのではないか。(遺産とそれを守ろうとする地域・人々のブランド向上に繋がる)

・世界に羽ばたいた時故郷である福岡の世界遺産くらいは説明できる位の教育を子供の頃から教えるべきだと思います。

・世界遺産の活用方法がよくわかりません。観光資源にするのか？歴史学習の礎にするのか？…等。登録されました、すごいですね！で終わっている感がある。

・世界遺産登録がゴールになっただけのように感じました。広報誌等でも登録する前は特集や告知が頻繁だったが今広報誌には、掲載をあまり見かけません。色んなところとコラボするなどしてもっとアピールが必要だと思われます。

<p>・世界遺産については、県民よりも海外の方のほうが関心があるかと思います。インバウンド向けのツアーを官民で計画し、実行してみたいかでしょうか。そうすると、県民も「自分たちのまちに世界遺産がある」ということを誇りに感じ、自ら PR するようになるかと思います。また、学術的なシンポジウムや講演会をして、世界遺産の価値を感じられる場があればぜひ行ってみたいと思います。</p>
<p>・世界遺産となると観光客が多くなりすぎて景観の維持など管理が大変になりそうだと感じますが、観光客が増えるならそれに応じて地元の雇用促進なども兼ねて地域や子供たちを巻き込んだ事業として発展出来ると良いと思います。</p>
<p>・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』はお菓子とのコラボなど、子どもにも目につきやすく認知しやすいアピールがされていていいと思いますが、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」についてはあまりぱっとしないという印象があります。</p>
<p>・世界遺産の数が増えてしまっただけで相対的に個々の世界遺産の価値が薄れてしまうという考え方もありますが、県内に世界遺産があることは素晴らしいことだと思います。福岡県民はそのことを誇りに思うと同時に、維持・管理していく責任が伴うという事を自覚し、世界遺産を訪れたり、友人知人に広めたりしていくと良いのではないかと考えます。</p>
<p>・世界遺産のインターネットによる充実した情報発信をお願いします。ネットでも情報の一元化してください。色々検索せずとも、すべての情報が網羅されるよう。</p>
<p>・ニュースなどで見て名前は聞いた事があるが、あえて訪れることはなかったので行きたいと思えるようになるにはと、考えると。私なら美味しい食事に興味をさらに感じるので… (魚、果物、アルコール、パンなどのワードには特に注目したくなります。) そこでしか食べられない、その季節ならではの食材なども合わせて発信してもらえると良いと思う。 福岡なら世界遺産にちなんだお土産があるよって他県の友人に送れるとよい</p>
<p>・貴重性や魅力についてアニメや映画やゲームなど物語を実感できるような面白い企画が欲しい。特に沖ノ島については現地に入れないうえに。</p>
<p>・なにかのアニメーション作品とタイアップしたり、コラボレーションしたりしたらどうでしょうか。オタクの発信力、財力はとても大きいです。</p>
<p>・市内の天神ビッグバンとの連携をすれば昼は、観光、夜は、飲食宿泊と、固定された収益が見込めると思う。</p>
<p>・世界遺産巡りマップなどを駅やバスセンターに置けば観光がしやすくなると思います。1日でもどのくらい世界遺産を回ることができるのか、県外の方は特に時間配分がわからないと思うので、交通機関や移動にかかる所要時間なども記載すれば計画が立てやすく、世界遺産を巡る意欲が湧くと思います。</p>
<p>・もっと世界遺産に足を運んで貰えるように、周辺環境及び循環バス等交通の便も整えて観光客が沢山来て、地域が発達する仕組み作りがされるといいと思う。</p>
<p>・実際に行ってみて 地図や駐車場 所要時間などの案内が欲しかったです。</p>
<p>・一番人が集まるのが祭りなので、やはり祭りと同時に発信するのが早いのでは。祭りとコラボして何か特典があると嬉しいですね。他には、県内の世界遺産を巡って交通費の割引を受けられるとか。駅からの無料シャトルバスが1日1便あるとかでも嬉しいかもです。</p>

【「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について】

・産業革命遺産については、その多くが九州・山口に集中していることから、関係県・団体等と連携して様々なイベントを開催しその遺産の独自性あるいは関連性を認識する機会が求められていると思います。文化財は保存も重要だと思いますが、それ以上に活用することが求められる時代だと思います。

・遠賀川水源地ポンプ場に行ったが、そこに施設があるだけ。遺産であるので昔の状態で現存させることは必要だが、そこに人が来てもらうための目玉的なものや魅力的な内容が必要。(人がいない所に人は集まらない)

・近現代は歴史でも最後になり飛ばされたりとあまり詳しくない人も多いと思います。ましてやきらびやかでも壮大でもないの、PR は工夫が必要だと思います。先日テレビでカードを集めるイベントがやってると紹介されていましたが、とても魅力的なのに期間が短く今から参加しても…という感じだったのでもっとしっかりPRしてくれたら参加したかったのにと思いました。

世界遺産があるのだから、観光に活用しても良いと思います。その為には、もっと雰囲気作りが大切だと考えています。三池炭鉱跡地に行くと、レンガ造りの建造物が目を引きませんが、お土産売り場なのか物産館なのかは普通の外観で残念です。そこは揃えて外観だけでもレンガ造りでしょう。そういう雰囲気作りのセンスが絶望的に足りないと思います。世界遺産に登録する事で何をしたいのかよく分かりません。もし建造物や当時の作業場を来世へ届け続けたいのであれば、当時を学ぶ為だけではなくて、楽しく訪れるように現在からその時代へとタイムスリップできる工夫や演出が必要だと思うし、町全体で世界遺産があるという雰囲気の匂わせ方もある方が、観光の人や地元の方はワクワクしませんか？炭鉱電車のレールも撤去されてしまいましたが、レールを活用して炭鉱トロッコ電車で市内観光なんてあったら活気づくだろうなって考えていました。レール復活を熱望します。

【『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』について】

・大島の中津宮、遙拝所、交流館等、現地のオルレに参加して大変良かった思い出があります。特に交流館の方の熱心な説明と映像による解説は良かったです。もっと地域内外にPRを促進すべきです。

・新原・奴山古墳群に行ってみました。説明の看板も何もなくてガッカリしました。ビデオ等を作成して、教育現場で県内の価値を伝えるのは効果的かと。

・FM 福岡と共作した神宿る島のラジオドラマは、とても面白く福岡の世界遺産について効果的に紹介している。そのようなメディアを活かした紹介が若者の視線を捉えるきっかけになるかもしれない。

【問7の調査結果より】

・世界遺産の保存・活用に向けてどのような取り組みを実施すべきか等について、様々な意見が得られた。

・特に「もっと世界遺産であること、どうして世界遺産になっているのかその魅力に触れられるような広報をしてほしい。」など、情報発信を求める意見が多かった。

・そのほか、子どもたちへの教育・普及啓発、地域との連携や、観光の受入環境整備、保存管理とその発信を求める意見もあった。

・これらの意見を踏まえ、世界遺産の保存・活用の取り組みを今後も継続・発信していくことが求められている。